

オオソラモ キナリノテラス



ポラスグループの戸建住宅分譲地「オオソラモ野田みずき」キナリノテラス」のコンセプトは車のスピードを抑制する

風景となる街。タウニングの道路を緩やかな力や外観のカラーに変化を付けた。建物配置は、リズム感のある街ながみで連

とともに、街の表情が楽しめる。各戸、敷地面積180平方メートル以上の広さに加え、資産価値の確保へ「灯りのいえなみ協定」や街並みガイドライン（GL）も用意した。

「風景となる街」へ 各戸敷地180㎡超

ポラスグループ

分譲地の真ん中に広がる中央緑地帯へと伸びるクルドサックやコミュニティ道路。街の広場ともなるクルドサックの中心はシンボルツリー、各通りごとにタウンツリーを配した。また、通りには一定のデザインコードを

継続するよう工夫を施し、フォーカルポイントにはアイストップとなる建物を設定した。街路樹や庭地を生かし、2台分のカースペースや自然のサイクルを採り入れた菜園スペース「ポタジェ」など広い庭を使いこなす計画を盛り込んだ。塀で仕切らないオープン外構により、公園の中にいるような安心感があり、芝生や草花、庭木などを植えることで道行く歩行者も楽しめるエクステリアデザインとしている。

木の間から見え隠れする建屋が、別荘地を思わせる景色を生み出す。180平方メートル以上の敷地の向上にもつなげる。

「灯りのいえなみ協定」により、夜になると門灯やガーデンライトが自動的に点灯し街全体をライトアップ。帰宅時の安心感を高める。また、勾配屋根を基調に建物の色調をコントロールする街並みGLも用意し、資産価値の向上にもつなげる。